

旧大学会館跡に寒梅館がオープン

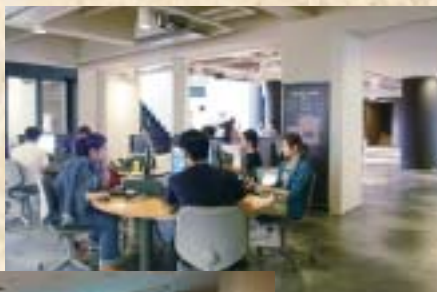


ニューイングランド風の外観を誇る寒梅館の全景

一昨年夏に着工された旧大学会館（1965年竣工）の建て替え工事が完了し、4月1日に「寒梅館」としてオープンした。学生の創造的活動の場、世代を超えた学術・研究の場、卒業生や地域社会にも開かれた交流の場など、新たな活動の拠点として活用されることが期待されている。（68頁「DOSHISHA REPORT」を参照）



▲1階ハーディーホール壁面に、大学が実施してきた発掘調査の出土遺物が展示されている。3月15日に開催された説明会。



▲1階メディアラウンジPCコーナーでパソコンを操作する学生たち。



◀最新設備を駆使して行われる司法研究科（ロースクール）の講義風景。

Neesima Room 第25回企画展

函館からボストンへ — 新島 襄「脱国140年」記念

本学の創立者・新島襄が、函館から脱国してアメリカに向かったのが1864年（元治元年）、今年で140年を迎えたことを記念して、4月1日～8月31日まで企画展が開催された。「日本脱出の記」、「航海日記」、米国留学免許状、書簡類や新島襄肖像石版画など数々の展示品が飾られ、期間中、多くの入場者で賑わった。



Neesima Roomでの展示会の風景。



新島襄が函館へ向かう途中で立ち寄ったゆかりの地、青森県下北郡風間浦村の風間浦中学校との「交流の誓い」プレート（同志社中学校所蔵）、その他の展示品。



5月13日に開催された公開講演会
「函館・ボストンそして同志社」
（講師は大鉢忠・工学部教授）

各校の行事・教育活動から Photo Skech

中学校

中学校生徒8名が3月21日～30日の間、米国サンフランシスコ郊外にあるヌエバ校を訪問。

ホームスティと授業参加などの交流を行った。

同校との交流は、国際中・高等学校および女子中・高等学校、香里中・高等学校においても実施されている。



国際中学校

国際中学校1年生の体験学習が、7月9日、10日に花背「山の家」で行われた。

フィールドアスレチックやファイヤーストームなど、盛り沢山のスケジュールで行われた。

写真は、飯盒炊爨（すいさん）に興じる生徒たち。



女子中・高等学校

女子中・高等学校では、従来から中学・高校一貫教育の特色を生かして、国際的視野を持った知識・技能・教養を身につけた女性を育成してきた。

写真は、外国人教師による英語授業の一コマ（中学3年生）。



同志社出身で広く各界で活躍されている方々を紹介する「インタビュー」のページが、今号より常設されます。

著名な方や「地の塩、世の光」として社会に貢献されている方など、毎回、お2人にご登場いただきます。(本文36頁～41頁)

久保明彦氏

1977年大学工学部卒業
料理旅館「幾松」専務取締役
鳴涯保勝会会長



上ノ山真佐子氏

1976年大学文学部社会福祉学専攻卒業
臨床心理士、精神保健福祉士
NPO法人「サタデーピア」代表

